

# 議会だより すその



富士山すその阿波おどり(裾野駅前)



SUSONO HOE-ROCK 2023  
(スノーパーク イエティ)



コスモスまつり(パノラマ遊花の里)



オーストラリアンフェア  
(裾野市民文化センター)



フェスタすその(裾野市民文化センター)



TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge  
in 富士山すその  
(裾野市運動公園)

題字制作

東西公民館の書道講座

清水 節代さん

9月定例会 No.153

令和5年11月24日

発行:裾野市議会

主な内容

- ・決算審査
- ・行政視察報告
- ・意見交換会の実施

# 予算決算 現地

「予算決算委員会の現地視察」とは、予算や決算に関連する事項を具体的に確認するために、関連する現地を実際に訪問して調査する活動です。

## 全分科会

GIGA端末活用授業(東小学校での体育の授業)



GIGA端末活用授業  
(東小学校)

一人一台配布のタブレット端末を用いた個別最適な学びを検証するため、体育の授業で小学校6年生の跳び箱運動を視察。飛びたい技により、グループに分かれ、タブレットを利用し、手本動画を見て、技の確認をする。次に、跳び箱を飛び所をタブレット端末で撮影しあい、飛び方を確認した。自身や友達の動きを映像で確認し、比較することができるなどの利点を確認しました。

## 総務分科会

深良分団消防ポンプ自動車設置助成事業 (深良分団詰所)

深良分団の消防ポンプ車は21年にわたり使用されていたが、基準である20年を過ぎ令和4年度に更新となった。新しい車両は、従来型と比べコンパクトで軽量化がされているが、放水性能は毎分2,000ℓとこれまでと同等の能力を保持している。

普通免許で運転もできるようになり、利便性の向上とドライブレコーダーやバックモニターなど最新の装備も確認しました。



導入された消防ポンプ自動車

<その他視察事項>

・伊豆島田集会所

(伊豆島田)



# 委員会 視察

## 厚生文教分科会

### 生活自立支援センター (茶畑)

令和4年4月から民間委託により、「裾野市生活自立支援センター」を設置。自立相談支援、就労準備支援、家計改善支援を一体的に実施している。令和4年度の新規相談件数は192件であり、50代の相談が多いこと、プラン作成件数は80件（再プラン含む）、就労支援39人、就労準備支援7人、家計改善支援14人であった。すべての問題をワンストップで支援するようにしていることを確認しました。



#### <その他視察事項>

- ・認定こども園富岳キッズセンターあい (茶畑)
- ・子ども家庭総合支援拠点(すこっぴ) (石脇)
- ・千福が丘小学校プール水槽塩ビシート防水改修工事 (千福が丘)
- ・千福が丘小学校特別支援学級増設に伴う改修工事 (千福が丘)

## 産業建設水道分科会

### 林道裾野愛鷹線の完成部分



#### <その他視察事項>

- ・県営中山間地域総合整備事業 (深良)
- ・市道2236号線道路改良舗装工 (葛山)
- ・岩波駅周辺整備事業 (岩波)
- ・裾野駅西土地区画整理事業 (平松)

### 県営林道裾野愛鷹線事業 (下和田)

裾野市西部の愛鷹山麓にはスギ・ヒノキの人工林が広がっていますが、沢筋の行き止まり林道が中心で木材搬出の手段が乏しかったため、利用間伐などの森林整備が停滞していました。このため、愛鷹山麓を横断して須山地区と下和田地区、葛山地区を結ぶ基幹的な林道となる裾野愛鷹線として平成26年に測量を行い、平成27年から工事を始め、路網整備を進めている事業です。

現地視察では、工事区間の全長や、現在の進捗、今後のスケジュール、総予算、国県市の負担割合、その効果など多岐にわたり確認をしました。

本路線の整備に合わせて、周辺の森林整備を進めていく予定です。

事業期間：平成26年～令和18年

事業主体：静岡県

幅員：4m

延長：18.23km

事業費：28億円(国50%、県40%、市10%)

## 総務分科会 予算の執行が計画通りされたか！

### 実質単年度収支黒字

**問** 平成20年ぶりに実質単年度収支が黒字となったが、決算をどう受け止めているのか。

**答** 税収や、交付税の状況などによる結果であると考えており、令和5年度の決算での黒字は厳しいと考えている。

### 防災教育

**問** 学校などでの防災教育の現状と評価は。

**答** 須山小・中学校で富士山火山噴火に関する防災教育を行った。子ども、保護者、地域コミュニティが一体で防災意識が高まったと認識している。



須山小で行った防災教育

### フィルムコミッション

**問** フィルムコミッションによるロケ地誘致に対する経済効果をどのように分析しているか。

**答** 市内の事業者、主として弁当屋や宿泊施設などを活用してもらったことで、経済効果を4,900万円と公表している。

### 職員採用試験

**問** 受験者数が増えているが、どのような工夫をしてきたのか。

**答** 教養試験の廃止や、ネットでの申し込みに変更、オンライン面接の導入など受験者の負担軽減に努めてきた。

### 一般廃棄物の収集運搬

**問** 一般廃棄物の収集運搬業務を入札する際、入札参加資格を許可更新10年から6年に変更した理由は。

**答** 財政非常事態宣言下で委託料を安価にするための方策を検討した中で、競争入札をできるようにするため。

## 厚生文教分科会 新たな取り組みの導入や、成果は！

### ICT活用の効果

**問** 登園降園管理システム（コドモン）活用の効果は。

**答** 通常の登園管理に加え、他園での預かり保育の際にも有効であり、現在ある機能をほぼ活用していることで、事務負担軽減に繋がっている。

### 子ども家庭総合支援拠点開設

**問** 北児童館廃止後の利用状況の評価は。

**答** 地域的な要因により、市北部地域には利用できない施設が存在しなかった。しかし、3月1日に新たに開設した拠点「すこっぷ」の利用者は、現在月に1,000人を超えており、地域のニーズをある程度カバーできるようになった。



新たに開設されたすこっぷ

### GIGAスクールの推進

**問** タブレット端末導入の評価は。

**答** 教員や児童生徒は、タブレット端末の使用に対して抵抗感が少なく、スキルも向上している。また、授業の進行状況をタブレット端末で確認しながら別室で学習するなどの活用方法もあった。

今後は、情報を収集する際にタブレットと書籍資料を組み合わせるなど、学習方法に関する研究をさらに推進することが必要と捉えている。

### ジェネリック医薬品の通知

**問** ジェネリック医薬品通知に関連して令和4年度の保険者努力支援制度交付金の額は。

**答** 保険給付費等交付金の内2,091万4,000円が該当する。

# 分科会ごとと細かくチェック!

## 産業建設水道分科会 命に係わる大切な水の状況は!

### 水道事業会計

**問** 水道の有収率が81.36%と前年と比較し1.0%、110,936㎡分が減少しているが要因は。

**答** 地中配管での漏水が主な原因である。

**問** 以前から千福が丘地区の漏水が課題となっているが、令和4年度の対応状況は。

**答** 4~5年前に漏水探査をして大きい箇所は修繕を行ったが、また別のところから出始めているので、来年度に予算を取って修繕する計画を立てていきたい。

**問** 総合計画の進捗管理シートに、人口減少や節水機器の発達により有収水量が減少しているため、水道料金収入が年々減少していることを課題として挙げているが考えは。

**答** 有収水量は全国的な人口減少によるものの影響が大きく、また節水機能により水の使用量自体が減っていると認識している。

### 簡易水道事業会計

**問** 十里木の簡易水道の安定的な給水に向け、市と受託者との間で、具体的な意見交換はなされたか。

**答** 令和5年1月の段階でポンプが停止したため、受託者と話し合い、今後をどうするかなどの協議を行った。

**問** 意見交換の結果として具体的な提案などには至ったのか。

**答** 具体的な話として、検討段階の話がいくつかあった。



水道管の漏水修繕

## 総括質疑

### ●杉山 茂規議員

**問** 平成20年度以来の実質単年度収支の黒字結果をどう分析しているか。

**答** 法人市民税や交付税など 外的要因が強いとは言え、結果として平成20年度以来の 黒字化であり、事業の棚卸がしっかりと出来たと評価している。

**問** 行財政構造改革第2期計画では、①収支の変動に対応した強力な改革が不十分、②構造の改革への踏み込みが不十分と、反省が示されている。事業執行に対する第2期計画の初年度（令和4年度）としての評価や振り返りを伺う。

**答** 市長給与の削減や管理職手当の削減、通勤手当の見直し、各種事業での優先順位の見直しによる事業の選定、また補助金を活用し一般財源の充当額の抑制などを実施した。

### ●増田 祐二議員

**問** 主要事務事業調書で「実質単年度収支の黒字は一時的なもの」としながら、令和4年度決算を「光射す一歩」と表現した要因は。

**答** 新型コロナの経済影響による税収減から回復傾向にあり、黒字となったため。

**問** 決算審査意見報告で「ごみ処理施設では市単独で整備する方針が示された」との記載があるが、その根拠は。

**答** 令和4年度12月定例会の一般質問で市長が答弁しており、資料の確認や聴取を経て記載した。

### ●岡本 和枝議員

**問** 令和3年2月に出された財政非常事態の宣言の取り扱いは。

**答** 財政非常事態宣言は市民に不安を与え、転入を検討している方に抵抗感を与えるものと認識している。5年の策定期間に囚われず、行財政構造改革を行なったうえで、早期に財政非常事態宣言から脱しなければならぬと考えている。現在、早期解消に向けて、庁内で議論を行っている。

**問** 子育て支援施設見直しの中で「住民合意」の位置づけは。

**答** 「方針」と「地区別再編計画」は段階を踏んで協議する。計画策定に向け関係者と協議を進めている。



# 令和5年9月定例会の審議議案と結果



## 全会一致の議案

		議案名	結果
市長提出	令和4年度決算の認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般会計歳入歳出決算（歳入決算額214億1,723万5,000円、歳出決算額200億6,948万4,000円、執行率は93.5%）</li> <li>国民健康保険特別会計歳入歳出決算（歳入決算額49億9,377万5,000円、歳出決算額48億239万円）</li> <li>後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算（歳入決算額6億3,889万円、歳出決算額6億3,328万9,000円）</li> <li>介護保険特別会計歳入歳出決算（歳入決算額38億417万3,000円、歳出決算額36億4,900万8,000円）</li> <li>墓地事業特別会計歳入歳出決算（歳入決算額1,554万2,000円、歳出決算額1,230万5,000円）</li> <li>企業版ふるさと納税地方創生特別会計歳入歳出決算（歳入決算額7億7,180万9,000円、歳出決算額23億7,779万2,000円）</li> <li>水道事業会計決算（収入決算額9億8,541万5,000円、支出決算額9億4,974万4,000円）</li> <li>下水道事業会計決算（収入決算額11億1,419万円、支出決算額13億820万6,000円）</li> </ul>	認定
	報告	健全化判断比率及び資金不足比率の報告	了承
	表彰	裾野市表彰を受けるもの（本市の公益に寄与にされた『株式会社ファンケル』を有功善行表彰した。）	原案可決
	人事	教育委員会委員の任命（本年9月30日をもって任期満了となるため、引き続き桃井昭一氏を任命する。）	同意
	条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>印鑑条例及び手数料条例一部を修正すること</li> <li>家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正すること</li> </ul>	原案可決
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業会計未処分利益余剰金の処分</li> <li>下水道事業会計未処分利益余剰金の処分</li> <li>都市公園を設置すべき区域の決定（岩波駅周辺整備事業に伴い本公園予定区域を決定する。）</li> <li>字の区域の変更</li> </ul>	
	補正予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度一般会計補正予算（第5回）（5,900万円を追加し予算総額を206億8,800万円とする。）</li> <li>令和5年度一般会計補正予算（第6回）（3億3,000万円を追加し予算総額を210億1,800万円とする。）</li> <li>令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第2回）（9,978万2,000円を追加し予算総額を48億2,684万9,000円とする。）</li> <li>令和5年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1回）（39万4,000円を追加し予算総額を6億6,039万4,000円とする。）</li> <li>令和5年度介護保険特別会計補正予算（第1回）（1億4,677万3,000円を追加し予算総額を41億2,277万3,000円とする。）</li> <li>令和5年度企業版ふるさと納税地方創生特別会計補正予算（第3回）（3,533万5,000円を減額し予算総額を26億1,502万5,000円とする。）</li> <li>令和5年度水道事業会計補正予算（第2回）</li> <li>令和5年度下水道事業会計補正予算（第2回）</li> <li>令和5年度簡易水道事業会計補正予算（第1回）</li> </ul>	
議員提出	派遣	議員派遣の件 御殿場市で実施の2市1町議員研修会へ議員19名を派遣する。	
	意見書	森林環境譲与税配分基準見直しに関する意見書 森林環境譲与税は現在、人口の多い首都圏に多く配分されているが、当市のように実際の森林涵養を行う自治体に対し、より多く配分を求める意見書。	

## 賛否が分かれた議案の概要と議員ごとの賛否内容

※賛成は○、反対は●、数字は議席番号を表しています。 ※議長（中村純也）は同数以外、採決には加わりません。

議席番号 議員名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	結果	
議案内容	則武優貴	小林浩文	大橋勝彦	勝又利裕	勝又豊	浅田基行	木村典由	増田祐二	土屋主久	杉山茂規	佐野利安	二ノ宮善明	三富美代子	賀茂博美	岡本和枝	小林俊	内藤法子	井出悟	中村純也	結果 原案認定 賛成：17 反対：1
一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

### 討論 一般会計歳入歳出決算

保育士などの職種が、会計年度ごとの任用で良いのか。地元要望対応予算の増額が必要。不適切保育問題などへの初動・マスコミ対応のまずさ。ごみ収集運搬業務委託を、長年随契でやっていたものを、入札参加資格のハードルを下げ入札を行ったこと。ごみの収集量は減少方向、特段これまでに収集運搬業務に問題があったわけではない。

**反対です**

**賛成です**

多忙な行政運営が行われる中、厳しい財政状況下でも市民生活の維持に向けた新たな取り組みが散見された。最終的な決算数値を見ると、原因は地方交付税の増が一因とされているが、収支の改善や事業費の抑制による、財政調整基金への積み増しで、単年度収支が黒字となった。今後も攻めの行政運営ができることを期待し、賛成する。

則武優貴

# 令和5年第3回臨時議会の審議議案と結果



## 全会一致の議案

議案番号	議案名	結果
第82号議案	建設工事請負契約の締結 （令和5年度 公共土木施設災害復旧事業 市道1-5号線道路災害復旧工事）入札の結果、金額2億350万円で有限会社秋山土建と契約を締結する。	原案可決
第83号議案	令和5年度一般会計補正予算（第7回） 3,200万円を追加し、予算総額210億5,000万円とするもので、特定防衛施設周辺整備調整交付金の確定による増（2,150万円）、寄付による小中学校管理運営費の増（1,000万円）など	

# 行政視察報告 Part 1

## 総務委員会 行政視察

令和5年7月11日 山形県鶴岡市

テーマ：ビストロ下水道

昭和55年に鶴岡浄化センターが共用開始した際、市内に産業廃棄物処分場がなかったため、汚泥処分方法の調査・研修を行い、資源化を目指し昭和61年に「鶴岡コンポストセンター」を建設。製造方法は、脱水汚泥にもみ殻を添加し、2回に分けて高温で発酵させ、完熟堆肥にしており、令和4年度は約585トンを出荷。市内ホームセンターで販売している。その他にこれまで焼却で発生する消化ガスを燃料に発電し電気事業者への売電を民設民営方式で行っている。本市の公共下水道は、広域で処理をしており、再利用の考え方など今後の参考にしていきたい。

令和5年7月12日 山形県遊佐町

テーマ：少年議会（少年町長、少年議員公選事業）

事業を立ち上げるきっかけは、若者の減少で地域活動に影響が出始めた事によるもので、2003年に始まり今年で21期目を迎える事業。

狙いは、中高生が早い段階で社会のシステムを実感でき、若者の視点でまちづくりが進み相互教育の場が育まれること。学校とも連携をとり本格的な選挙まで行って少年議会内での町長や議員を選ぶ。たとえ落選しても副町長や事務局長など、必ず役割が与えられるところが特徴。まだ、実際の町長や議員に立候補する

人はいないとのことだが、地域におけるリーダーが育ち始めている。本市でも地域活動などで若者の参加が減少傾向になる恐れもあるため、地域の交流を大事にすることが重要である。

令和5年7月13日 新潟県阿賀野市

テーマ：道の駅「あがの」

平成12年に「福祉の道の駅」として発案されたものの進まず、阿賀野バイパス開通の兆しが出た平成28年に整備検討委員会、令和元年「道の駅整備計画」を策定し、令和4年8月にオープンした。活用した補助金と市の財源確保や基本構想から商工会など地域関係者を含め、議論を積み重ねてきたなど苦労話も確認できた。本市でも「道の駅」を構想しているが、期待される効果をしっかり見据えて、財源を含めた協議・研究を進めていくことが重要である。



山形県遊佐町議場



山形県鶴岡市

## 厚生文教委員会 行政視察

令和5年7月24日 大阪府吹田市

テーマ：多世代居住型健康スマートタウンSuita SST

Suita SSTはパナソニック(株)など異業種15団体と吹田市の共創によるスマートタウンで、超高齢社会の課題を解決するために、多様なサービスを組み合わせ、まち全体で新たな実証・取組みをしている。様々な世代が交流できる仕掛けやパーソナルヘルスデータに基づく健康増進、タウンセキュリティカメラでの転倒・滞留画像解析などの実証が行われている。民間が進める「まちびらき」ですが、吹田市が近隣で進める北大阪健康医療都市（健都）との相互連携など、地域全体の価値向上に繋がる取り組みが推進され、この場をどう活用するのか、注目される。超高齢化社会における当市のまちづくりの参考にした。

令和5年7月25日 大阪府池田市

テーマ：不登校対策スマイルファクトリー

日本初の公共施設を利用した（公設）民営のフリースクールで、教育委員会の委託によりNPO法人トイボックスが運営している。発達障がいや社会不適応障がいなど様々な理由で社会生活に生きにくさを感じて、学校に通いにくくなってしまった子どもたちの居場所づくりと教育相談などに対応している。ここでの出席が在籍校での出席に換算される仕組み。施設内には地元住民も集まれるスマイル・カフェを設置、イベントなどを通じた地域との交流も図ることが出来る。教育

における、新たな視点での協働、住民と学校のつながる場の在り方などは当市の不登校対策やコミュニティスクールに活かしたい。

令和5年7月26日 大阪府泉大津市

テーマ：市立図書館シープラの活用手法

泉大津駅のショッピングモール4階に、2021年リニューアルオープンした図書館。

2018年から市民と共にその運用などの検討を重ね、読書や学習機能に加え、ビジネス支援サービスや学校との連携といった機能の強化・拡充を図るなど、多様な価値を持つ知の拠点として日々の暮らしに寄り添っている。

図書館の可能性を広げる取り組みや来館者増加の要因、多様化する市民ニーズへの対応の課題を解決するために市直営にした経緯や効果を伺うことができ、当市の図書館活用の参考にしていきたい。



大阪府泉大津市議場





# 代 表 質 問



未来すその 浅田 基行

(賀茂 博美、杉山 茂規、井出 悟、中村 純也、大橋 勝彦)



**問** 福祉保健会館や市立水泳場跡地を含めたエリアを「多世代交流エリア」として明確に定義してはどうか、また幼児施設整備基本構想での幼児施設の配置を改めて見極める必要があるのでは。

**答** エリアは、国土利用計画裾野市計画で「生活・交流ゾーン」と位置付けており、今後の計画策定で、「多世代交流エリア」の趣旨を踏まえゾーニングするよう検討する。また、市立水泳場跡地の活用方法は、想定以上の出生数減少や、近隣に別のこども園が新設されるなどの状況を踏まえ、改めて速やかに判断する。

**問** 多世代交流エリアや交通ハブ拠点として整備が期待される市道千福深良線沿いに、新たな地域医療拠点を創出してはどうか。

**答** 今後の新たな地域医療拠点を検討する際、市内のどこからでもアクセスしやすく、多様な交通手段を許容できる場所に立地するべきであると考えており、そうした点において、市道千福深良線沿線は適地のひとつであると考えている。

**問** 現行の市立保育園を、暫定的に子ども園に転換して、幼稚園児を1号認定として受け入れる方式を実現してはどうか。

**答** 幼稚園保育園の統合時期の前倒しや優先順位を含めた大幅な見直しが必要であると認識しており、保育園をこども園に転換して幼稚園児を受け入れる方式も選択肢の一つとして検討していく。



未来すそのが提案する  
○ 多世代交流エリア — 市道千福深良線沿線沿い



真政会 土屋 主久(勝又 利裕、増田 祐二、小林 浩文)



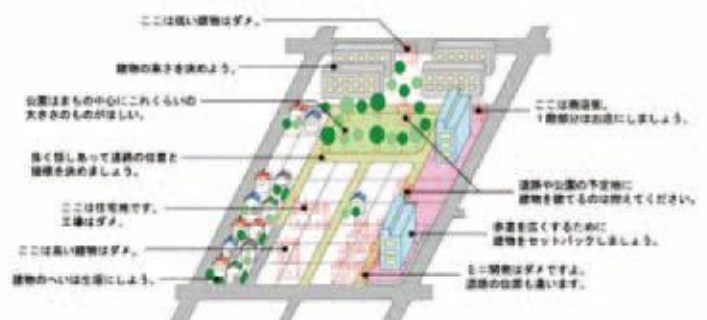
**問** 学校教育施設の再編に向け、各地区で説明会などが開催されてきたが、学校再編が地域にもたらす影響を、どのように捉え、どのようにしていこうと考えているのか伺う。

**答** 大切なのは、将来の地域の姿、子どもたちのより良い教育環境のあり方を考えていく。再編が新たなコミュニティの創造や、新たなコミュニティ活動の誕生に繋がっていくことを願い、今まで育んできた地域の力に期待する。

**問** 人口の約4割が居住している市街化調整区域の土地利用をどのようにしていくのか。

**答** 市街化調整区域の性格を変えない範囲で、企業の立地や住宅の建設を可能とするため、地区計画適用の基本方針を策定していく。

## 地区計画のイメージ図



「出展：国土交通省都市計画課」





## 公明党 三富 美代子 (佐野 利安)



**問** 带状疱疹ワクチン接種の助成制度に対する市長のお考えは。

**答** 带状疱疹ワクチン接種に対する公費助成は、令和6年度当初予算に関連予算を計上のうえ、令和6年度から実施する。

**問** 幼児施設の再編と市営プール跡地の活用のお考えは。

**答** 想定以上の出生数の減少や、別の民設民営こども園の新設などの状況も踏まえ、改めて判断する必要があるとあり、せせらぎ児童公園との一体性などを鑑み、公園をひとつの有力な選択肢として、検討したい。

**問** 誰もが一緒に楽しく遊べるインクルーシブ遊具などを整備しては如何か。

**答** 広場確保の観点から設置が難しい場合もありますが、まずは駅西公園の遊具設置の際に検討する。

せせらぎ児童公園と解体中の市営プール



## かがやき 勝又 豊 (小林 俊)



**問** 行政サービスの拠点となる道の駅を作る上で重要となるコンセプトとは。また、狙う対象は。

**答** 四季折々の美しい富士山を望むことができる立地を活かした裾野市ならではの道の駅を考えており、対象は観光客を含めた道路利用者と地域連携機能の施設を利用する市民や近隣市町の住民などを想定している。

**問** 観光に、中央公園や五竜の滝を活用するPark-PFIの実現可能性を秘めた魅力向上策は。

**答** シェアサイクルのポートを中央公園に設置予定。また、黄瀬川沿い遊歩道は滝や吊橋を上から見ることができ、溶岩流を観察できるなど黄瀬川の魅力を伝えるコースを活かし、観光としての川の魅力を探りたい。

**問** 狭隘道路解消は実現に向けて動くのか。

**答** 建て替えが行われないと難しい現実があるが、事業実施可能な地区要望箇所に優先順位を付けて行う。

黄瀬川沿いの遊歩道



## もののふ 木村 典由 (則武 優貴)



**問** 交流人口拡大事業で期待するものは。

**答** 道の駅や御師公園などの新たな施設を整備することで観光入込客数の増加に繋がると考える。

**問** 災害時、迅速で正確な情報提供が不可欠であるが、災害時の情報伝達をどのような手段や、システムを用いているのか。

**答** 情報伝達手段としては、戸別広報無線や屋外広報無線放送、まもメールやLINEでの情報発信も行っている。SATV自治体広報情報として、静岡朝日テレビのdボタンで緊急時の情報発信も行っている。

**問** 公共施設トイレの改修や修繕の必要性など、トイレの維持管理修繕に関する考え方や計画は。

**答** 総合グラウンドなど、スポーツ施設にある屋外トイレは、洋式化など、財政状況や公共施設の整備方針を勘案して検討する必要があると考える。



# 6人が一般質問で市政を問う



則武 優貴 議員



1. 教育現場での課題と未来に向けた教育構造
2. 図書館の現在（いま）と岩波図書館の提案

**問** 熱中症は命に関わる問題であり、特別室へのエアコン設置は急務である。いかがお考えか。

**答** 夏の災害級の暑さについて、本市としても特別室へのエアコン設置に取り組みたい。

**問** 岩波駅周辺整備事業に紐づけ、複合機能を持たせた図書館を作ってはいかがか。

**答** 一つのアイデアとして、参考にする。

**問** 学校や教育機関は、スマホ依存症の予防に向け、どのような取り組みをしているか。

**答** 授業の中で、健康や情報モラル（デジタルシチズンシップ）の側面から指導している。

**問** 教育現場では生成AIをどのように受け止めているか。

**答** 活用が有効な場面を検証しつつ、限定的な利用から始めることが適切と考えている。



二ノ宮 善明 議員



1. 講師・支援員の安定的な配置を望む
2. 小・中学校の特別教室へのエアコン設置を望む

**問** 当市の講師数は、35人をピークに徐々に減り、現在は16人である。若干名増加したが、ピーク時の約半数である。未来を担う子ども達の為に、安定した人数の配置はできないか、伺う。

**答** 講師や支援員の配置は、市の教育施策として非常に有効だと認識している。安定的な配置に努めたい。

**問** 音楽室、家庭科室、理科室、技術科室など、エアコンが設置されていない特別教室で授業を受ける生徒は集中できず、授業を受け持つ教員は一日中猛暑の中にいる。エアコン設置の見解を伺う。

**答** 各学校からの設置要望は理解している。エアコンに頼らない対策も限界に近い。特別教室の利用頻度や、財源の確保などの視点から導入の検討をする。



内藤 法子 議員



1. 学校プールの更新と水泳教育の方法
2. 給食センターの早期更新は

**問** 学校給食は給食センターと自校式が混在し共に老朽化している。安全配慮など問題があり、センター方式にして、給食センターの更新を早急にすべきと考えるが如何か。

**答** 老朽化は大きな問題。サウンディング調査を実施予定。安心・安全・安定した給食提供に向け給食センター化を速

かに検討を進めていく。

**問** 学校プールは老朽化し、維持、管理の負担が大きい。今後は建替え更新をせずに、水泳教育の民間委託と跡地の有効利用を考えては。

**答** プールは58年経過の物も有り老朽化している。使用が困難となった場合には、建て替えせずに、水泳教育が継続できる方法を検討していきたい。プールがなくなった場合の跡地の活用は慎重に検討していく必要がある。



賀茂 博美 議員



## 建設発生土（残土）処分場の整備

**問** 熱海市の土石流災害を受け盛土規制の法整備がなされた。現在、残土の処分場不足や受入れ制限により搬出先が確保できない状況である。公共工事の建設発生土処分場を市が自ら確保することの考えを伺う。

**答** 災害時の残土置き場を含め、公共事業分の置き場を前向きに検討していくが、設置時期は未定、適地選定が鍵であり民間同様に市が設置することも難しい状況である。

**問** 建設発生土の有効活用は、現場間流用や官民でのマッチングを行う必要があると考えるが、現状を伺う。また、事業者などと連携し解決策を協議する必要があると考えるが見解を伺う。

**答** 現場間流用には土質改良が必要となりマッチングも進んでいない。官民が連携して解決に向けて取り組んでいきたい。





# 6人が一般質問で市政を問う



岡本 和枝 議員



生活保護から生活保障と名称を変更して、恩恵であるといった誤解や、生活保護だけは受けたくないといった偏見を解消しよう。

**問** 国民の生存権、国の社会保障的義務を謳った憲法25条を受けて生活保護法が作られている。生活保護の忌避感をなくすためには、権利と呼びかけるだけでなく、抵抗感をなくす工夫も求められている。ホームページの見直し検討を。

**答** 制度の見直しなどの周知が必要な場合は、必要に応じて随時見直しを図っていく。

**問** 保育園などの現場で「共同できる職場づくり」が言われている。そのためには新人を含め誰もが自由に意見を述べ、運営計画に能動的に関われる職員集団の形成と安定的な雇用と労働条件の確保が重要。制度や学びの仕組みをどう作るか。

**答** ストレスを軽減しながら、職員がお互いを助け合えるような保育環境づくりに向けた調整、様々な研修などの学びの機会を捉えて進める。



小林 俊 議員



ネーミングライツプロジェクトを発足させよう

**問** 岩波駅前拠点誘導施設の整備に係るサウンディング型市場調査の結果、評価をどう捉えるか。

**答** この事業に対する実現性をしっかり担保できたと考えている。

**問** 三島、長泉、裾野で、下土狩、三島駅間の自動運転を目指すプロジェクトがあるが、県のメニューか。

**答** 国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業費補助事業の採択を受けて、下土狩駅と三島駅北口間で自動運転の実証をする。国の事業である。

**問** 裾野市のあらゆるものに名前を付けるネーミングライツ契約を推進しよう。

**答** より多くの発想を受け入れ、年間を通していつでも提案を受けられるよう提案公募型ネーミングライツパートナー募集を行っている。



## 市民意見をもとに政策討論会を行いました

### 子ども家庭総合支援拠点「すこっぷ」運営への提言

子育て世代の負担軽減と、安心して子どもを生き育てられる環境整備の目的で開設された「すこっぷ」の現状は、平日のみの開館であり、幅広いご家庭や子どもたちの利用拡大に繋がるよう、土日祝日開館できる運営の検討を開始しました。

厚生文教委員会による協議会では、担当課の説明を受け課題を精査し、その後現地調査を行い、各課題解決のために、「設備的な課題の研究」「近隣市町の実態調査による土日開館メリットの研究」「南児童館等の調査」を分担し、5回の協議を重ね、提言素案をまとめました。提言素案は、全議員による3回の討論を重ね、10月27日の政策討論会で提言書を取りまとめました。

市長へ提出した提言書の概要は次のとおりです。

1. (運営時間など) 誰もが利用しやすく、多様なライフスタイルに対応できるよう、速やかに土日祝日の開所を行うこと。
2. (人材確保・育成) 声なき心の不安に気づき、寄り添える支援体制を構築すること。
3. (集いの場・交流の場) 子どもや親の孤立を生まず、互いを気遣える、安全安心な場の環境を整備すること。
4. (集約・連携体制) 子どもへの気づきを集約・共有し、どの機関でも見守れる包括連携機能を構築すること。



# 区長会や各種団体をはじめ、市民の皆様と

裾野市議会は市民の声を尊重し、より良い議会を目指して取り組んでいます。現在、区長会や各種団体との意見交換会を積極的に行っており、市民からの意見や要望を政策に反映するための活動を進めています。前回掲載しきれなかった分から、順に掲載しています。



議員紹介ページの  
地区を参照ください

**【地域別】 各種団体と各地区議員団** 各地区議員団（西、東、富岡、深良、須山の地区ごとに議員団を構成しています。）

## 5月11日 富岡須山地区民生委員児童委員協議会・富岡地区須山地区議員団

- ・ 民生委員児童委員の活動に関する事項ではコロナ禍で学校との情報交換ができていなかったため、子どもの様子が分からなかった。以前は学校連絡会という場があり、それぞれの情報などを共有していた。その仕組みを復活できると良い。また、子ども家庭総合支援拠点「すこっぴ」や、家庭児童相談事業所と連携していくことも必要であるとの意見をいただいた。民生委員は、子どもや高齢者の見守りと行政へのつなぎ役。コロナ禍で活動ができていなかったが、今回の意見交換会で抱えている課題を共有できたことは良かった。
- ・ 学校再編に関する事項では、小規模校には小規模校の良さがある。小規模を強みに先進的な教育に取り組むなどの積極性が必要であり、少子高齢化の中、学校再編による跡地活用も含めて、こども園と高齢者施設が一体となった整備なども考えていく必要があるのではないかとの意見をいただいた。



## 5月20日 富岡地区区長会・富岡地区議員団



- ・ 学校再編に関する事項では、富岡第二小学校が廃校になることで、当事者や住民への説明の仕方、あるいは今後、起こり得る問題などの意見が出された。また、統合後の施設の活用方法や教育内容の充実などの意見が出された。これは今後予定されている地域説明会に、教育部のみならず関係部署の同席も視野に実施していただくよう要望することとした。
- ・ 工業団地に関する事項では、裾野市の豊富な資源を活かした食品の一大工業団地を作ってはどうかとの提案があり、令和5年度事業として工場用地の創出・確保を推進するため、工場立地適地調査を実施する予定となっており、そういった中で検討していくべき事項であると回答した。

**【分野別】 各種団体と各常任委員会**

## 5月17日 裾野赤十字病院・厚生文教委員会

- ・ 病院側の意見や課題を、多く収集した。医師不足という長年の課題に対処するためには病院単独の取り組みだけでは克服が難しいことが明らかになった。そのため、医療機関との連携を一層強化していくことなどの提案があった。
- ・ 経営状況は改善傾向にあるものの黒字化には程遠く、存続のために市からの補助金を充当している。当病院の地域での必要性が日本赤十字社の存続判断項目の一つであるため、市内の医療連携体制の再構築と役割分担が明確になれば、それに沿った貢献をする意向がある。





# 積極的に意見交換会を実施しています！

## 7月10日 交通指導員会・総務委員会

- ・道の駅はどこに作るのかという問いに対して、今年度基本構想策定に着手する。交通量などを考慮し整備していくが、場所などは未定と答えた。
- ・ウーブン・シティを含めた構想では、岩波駅周辺整備として御宿第一歩道橋を撤去し、人だけではなく最新のパーソナルモビリティなどが走ることのできる遊歩道を整備する。企業は北部地域などの産業集積ゾーンに誘致していく予定である。
- ・学校周辺のスクールゾーンの時間帯が7時から8時となっている中で、生徒の通学時間帯が8時15分までとなっており時間がずれていて困っているとの意見には、この15分間のずれは、会終了後に教育委員会へ確認したところ東小学校から警察へ提出されており、実施時期回答待ちであるとわかった。

## 7月22日 元気なまちづくり研究会・総務委員会

- ・スーダンへ読まなくなった本を送る活動は全国で約40,000件行われており、そのうち裾野市が5,000件を提供している。裾野市民の結束力と思いやりの深さを感じた。裾野市での取り組みは、一人の市民から始まったが、共感と協力を生むためには、情熱と感謝の気持ちが重要であることを痛感した。
- ・つながりづくりは、活動することによって、誰かにお願いしてやってもらう必要が出てくる。お願いする方もお願いされる方も「お互い様」の関係が生まれる。①自分でできることは、自分だけでやらない。②他人に迷惑をかけることを恐れない。③一人ではとてもできそうもないことをする。一人一人が実践していくことが、つながりを作っていくことになる。



## 8月2日 地域地震防災指導員会・総務委員会



- ・女性の視点も含めてAEDに三角巾を備えつけることが議会からの提案で実現できたことに感謝している。また日頃から防災意識を育てることが大切であり、議員も常に防災意識を持って活動してほしいとの意見に、今一度防災を考える良い機会になった。
- ・地域地震防災指導員43人中、区長と兼任している委員が4人いるが、どのように考えているかとの問いに、近隣市町と比べると区数が多く、戸数が少ない地区では役員負担が大きいことは認識している。区の統合などできれば良いと考えることを伝えた。
- ・学校は地域コミュニティの核であり、防災の中心となる広域避難地にもなっている。学校再編は、説明会を通して様々な角度から考えていかなければならないと感じた。

今後も市民参加型の議会運営を通じて、地域の課題解決に向けた協力関係を築いていきます。市民の皆様の参加とご意見をお待ちしています。

## 産業建設水道委員会 行政視察

令和5年7月25日 石川県金沢市

テーマ：金沢市観光推進基本計画

本年度、観光戦略を策定するにあたり、観光都市である金沢市の観光振興推進計画から成功事例を学び取り、地域振興や観光施策に寄与するために視察を行った。金沢市では、歴史・伝統工芸・文化・建築・芸術などの観光資源を、普段体験し得ない『特別な体験』として提供をしている。コンテンツ創りを市が一緒になって取り組んでおり、その後も伴走型で支援を継続している点が特徴的と感じた。裾野市内には様々な歴史的コンテンツがあり、とても参考となる事例であった。

令和5年7月26日 福井県福井市

テーマ：観光おもてなし市民運動

観光客が多く来る街とするには、新たな観光客の獲得とともに、再び訪れる人を増やすことが重要である。当市の観光戦略策定に際し、視点としてリピーターを増やす「おもてなしをする心の醸成」の取り組みを学び、より良い戦略の策定に寄与するため視察を行った。おもてなしは、「笑顔で挨拶」「名前を呼ぶ」「興味を持って相手を見る」ことから始まり、いかに相手の立場に立つことが出来るか、また相手が喜ぶことが嬉しい、という価値観を大切にすることが大事であるものであった。この点は観光に限らず、職員の接遇など全職員に当てはまる話であった。また、観光おもてなし

マイスターを育成し普及啓発に取り組んでいるが、地域全体への展開がなかなか難しいことから、行政の独りよがりになっている場合もあるため、当市でも肝に銘じて行っていくべきと学んだ。

令和5年7月27日 福井県永平寺町

テーマ：ZEN drive レベル4自動運転

全国初の自動運転レベル4がスタートしたが、それは公共交通の代替手段としての可能性が高く、当市の移動の課題解決に繋がる部分もあるため、運用の課題や現実を知ることが目的として視察を行った。視察の結果、当市でも千福が丘や青葉台、呼子などの団地から拠点への移動手段として成立する可能性が見えてきたと考える。当市でも積極的に導入を検討し、地域内での移動や日常生活の便益を高めていける点が参考になった。



自動運転レベル4での遠隔監視室

## 議会のあり方検討委員会

委員会は、6月12日に第1回目の会議を開催し、調査・研究の活動を開始いたしました。

本委員会の主な目的は、以下の3点を調査研究することです。

- 「①政策形成の整備」
- 「②定数・報酬のあり方の検討」
- 「③その他議会改革に伴う課題の改善」

「①政策形成の整備」に関しては、10月末までに第7回の会議を行い、市民がどのような議会や議員を望んでいるのか、市民の期待に応えるための方策や議会基本条例に基づく最適な姿勢や取り組みについて重点的に議論しています。このテーマをしっかりと整備していくことで、「②定数・報酬のあり方の検討」への取り組みもスムーズに進展すると考えています。さまざまな視点からの調査研究を行い、本委員会として有意義な結果を出していくことを目指しています。「③その他議会改革に伴う課題の改善」は、現在の調査研究の過程で浮上する問題点を随時取り上げ、適切に対応していく予定です。

委員会の活動を通じて、市民の皆さまが「議会や議員が良い方向に変わった」と感じられるよう、全力で取り組んでまいります。





# 議会から市長に申し入れ！

令和5年9月定例会の予算決算委員会で議員間討論が実施され、より慎重かつ詳細な審査、審議を行い、よりよい施策につなげていくために、下記事項を申し入れた。

- 1 理事者側との協議により、全員協議会は原則として毎月開催することとしている。市政に関し重要な事業の方針転換などが想定される場合や、方針転換に向けた取り組みを予定している場合は、事前に情報共有・協議・調整をすること。
- 2 裾野市総合計画の指標に基づく事務事業の評価結果をわかりやすくするため、予算執行実績及び事務事業調書への記載をすること。
- 3 指標の設定は施策の目的が明確にされていることから、指標設定の趣旨を全職員が正しく理解し、施策を通じて市民に浸透できるよう努めるとともに、絶え間ない指標の見直しをすること。

## みんなの声

# 今行政へ期待すること

本ページは、裾野市議会議員が市民の皆様取材を行い、構成しています。



### 杉本 博さん(御宿)

市内の店が年々、閉店・廃業し、不便さを感じます。新しい道路はできても、街づくりの施策が追いついていない。財政難の中でも、基盤整備をして次世代に繋がるような街づくりを期待しています。



### 遠藤 亜矢子さん(茶畑)

小学校の図書館(図書室)でボランティアによる整備活動に参加しています。未来を作る子ども達の興味を広げたり、心の成長に読書は役に立つと思います。各小学校に図書館司書の配置を検討していただけると嬉しいです。



### 松ノ元 理恵さん(須山)

新しいことに取り組む勇気と前例のないことにチャレンジしていく思考を持って施策を進めていただきたいです。また、子どもたちが地域の中で、のびのびと成長していける環境整備をしていただけることを期待しています。



### 小林 淳さん(深良)

一つの市だけでなく隣接する他の市町村との垣根を超えた取り組みをもっと進行できれば良いかと思います。特に県境を越えて箱根を始めた南足柄地域と何かができることを期待します。



### 西島 喜之さん(岩波)

災害時、複数の火災を考えると、可搬ポンプで使える量を確保できる水路を整備してほしいです。身近な避難場所の収容人数の確保や車中泊への対応も必要だと思います。湧水を活用した岩波駅周辺の整備にも期待します。



### 小池 貞子さん(佐野)

駅西区画整理は、市長も駅前に賑わいを取り戻すために、新道通りも解体や取り壊しの通達を出したと聞いています。今までの小柄沢河川下流からの整備計画がなくなり、お金がない中で、どのように事業を進めるか心配です。

## 副議長の就任挨拶

第44代裾野市議会副議長を拝命しました杉山茂規です。令和4年度決算は、実質単年度収支が20年ぶりに黒字となりました。これは、行財政構造改革の取り組み結果としての事業棚卸による効果もありますが、収支の上振れなど、その他要因の影響も大きいと捉えています。

令和5年度は、そのような状況を引き継いでおり、今後の裾野市のかじ取りは非常に重要な局面であると認識しています。

予算決算委員会の委員長を担う副議長として、微力ではありますが、闊達な議論により入念な審査を図ることが出来るように、またスムーズな議会運営に資するよう全力で取り組んでいくことをお誓い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。



副議長 杉山 茂規

## 傍聴ありがとうございました

保育園、幼稚園、小学校、中学校の先生達の働き方改革を早急にしてほしいです。

70代 女性

市議会傍聴の参加者が増えないのは、平日の午前中が多いからです。休日や平日夜間の議会開催を望んでいます。

70代 男性

議会と市政の関係を近づければ、市民としての生活と政治をもっと身近に感じられるのではないかと感じました。

40代 女性

## 広報広聴委員会のメンバーが新しくなりました！



一期目、二期目のメンバーでの構成となりました。若手議員の目線で議会を紹介します！

- ・委員長 木村 典由
- ・副委員長 浅田 基行
- ・委員 勝又 豊
- 則武 優貴
- 小林 浩文
- 大橋 勝彦

## 議会だよりすその訂正

議会だよりすその6月定例会152号の表紙で、写真の撮影場所の記載に誤りがありました。

(誤) 深良遠藤原  
(正) 深良遠道原

お詫びして訂正します。

☎ 広報広聴委員会 995-1839

裾野市議会

議会映像を配信  
しています！



議会をチェック!!

裾野市議会

検索



## 令和5年12月定例会(予定)

※予定は変更する可能性があります。

11月28日	火	本会議	10:00～	12月6日	水	本会議(一般質問)	10:00～
11月30日	木	本会議	10:00～	12月7日	木	本会議(一般質問)	10:00～
		予算決算委員会	本会議終了後	12月8日	金	本会議(一般質問)	10:00～
12月1日	金	予算決算委員会 (総務分科会)	9:00～	12月11日	月	本会議(一般質問)	10:00～
		総務委員会				本会議終了後	
12月4日	月	予算決算委員会 (産業建設水道分科会) 産業建設水道委員会	9:00～	12月13日	水	本会議	10:00～
12月5日	火	予算決算委員会 (厚生文教分科会) 厚生文教委員会	9:00～				

議会だよりすそのでは、誰もが「見やすく、読みやすい」よう細かい部分に配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。

発行●裾野市議会 静岡県裾野市佐野 1059

Eメール●gikai@city.susono.shizuoka.jp

編集●広報広聴委員会 ☎ 055-995-1839 (直通)

印刷●ナポー株式会社



会議録検索システム